

科目名	現代の国語	学年	1 年生	使用教材	教科書	新編 現代の国語（大修館書店）
		単位数	2 単位（必修・選択）		副教材	
学習の目標						
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。						
学習の概要						
（知識・技能）言語の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事項 （思考・判断・表現）話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと						
学期	学習内容		学習のねらい		学習方法	
1 学期	1 白紙 2 考える技術－考えさせない時代に抗して 3 設計図を最初に渡せ！ 4 伝わるように話す 5 他者を理解するということ 6 「動」への変化 7 伝える・伝え合う		・「話す・聞く」…基本的な言葉遣いや、技能を身につける ・「書く」…基本的な知識や技能を身につける ・「読む」…興味・関心をもって取り組む態度を養う		・講義 ・演習 ・作文 ・発表 ・話し合い ・プリント学習	
2 学期	8 状況に応じた通信文を書く 9 空気を読む 10 『個人』から『分人』へ 11 水の東西 12 「美しさの発見」について 13 文章を読み取って主張を書く		・「話す・聞く」…適切な構成や、正確に聞く力を身につける ・「書く」…文章の表記の原則を身につける ・「読む」…筆者の主張と根拠を読み取る		・講義 ・演習 ・作文 ・発表 ・話し合い ・プリント学習	
3 学期	14 言葉についての新しい知識 15 自然と人間との関係をとおして考える 16 魅力的な紹介文を書く		・「話す・聞く」…聞き手に対する意識を養う ・「書く」…読みやすい文章の書き方を身につける ・「読む」…筆者の主張とそれに対する自分の意見を考える		・講義 ・演習 ・作文 ・発表 ・話し合い ・プリント学習	
観点別評価規準および評価方法						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
定期考査、小テスト		定期考査、小テスト、プリントの記述、作文などの作成、発表、話し合い		授業への取り組み、ノートの整理 プリントの記述、授業中の発言、行動観察		
観点別評価の割合 知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学習に取り組む態度 ＝ 1：1：1						
担当者からのメッセージ						
言語についての知識や技能を深め、それを使って考えたり、表現したりする授業です。そのため、授業にしっかりと出席して、授業の中での活動にしっかりと取り組むようにしてください。定期考査だけではなく、提出物の状況や授業態度・取り組みも大きく成績に影響します。						

科目名	言語文化	学年	2 年生	使用教材	教科書	新編 言語文化（大修館書店）
		単位数	2 単位（必修・選択）		副教材	
学習の目標						
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。						
学習の概要						
（知識・技能）言葉の特徴や使い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項 （思考・判断・表現）書くこと、読むこと						
学期	学習内容		学習のねらい		学習方法	
1 学期	1	世界を見わたす窓	・近現代以降の文章を読み、言葉と文化への理解を深める ・古文を読むための基本的な知識を身につける ・漢文を読むための基本的な知識を身につける		・講義 ・演習 ・発表 ・プリント学習	
	2	文字の神秘				
	3	児のそら寝				
	4	徒然草				
	5	枕草子				
	6	私たちと漢文				
	7	論語				
	8	サーカス				
	9	Circus				
2 学期	10	ゼイナブの指	・小説の登場人物の心情を読み取る ・古文の基本的な知識を生かして、文章の読解に取り組む ・漢文の基本的な知識を生かして、文章の読解に取り組む		・講義 ・演習 ・発表 ・プリント学習	
	11	羅生門				
	12	絵仏師良秀				
	13	阿蘇の史、盗人にあひてのがるること				
	14	平家物語				
	15	蛇足				
	16	完璧				
3 学期	17	外国語の不思議・日本語の不思議	・作品の状況設定を的確にとらえ、内容を読み取る ・和歌に親しむ ・漢文訓読に習熟する		・講義 ・演習 ・発表 ・プリント学習	
	18	わたしが一番きれいだったとき				
	19	臥薪嘗胆				
観点別評価規準および評価方法						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
定期考査、小テスト		定期考査、小テスト、プリントの記述、作文などの作成、発表、話し合い		授業への取り組み、ノートの整理 プリントの記述、授業中の発言、行動観察		
観点別評価の割合 知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学習に取り組む態度 ＝ 1： 1： 1						
担当者からのメッセージ						
言語文化は、小説、古文、漢文が主な内容になります。古文、漢文は中学校でどれくらい学んだのかが人によって異なりますが、基本的な内容から始めます。そのため、中学校でどれくらい学んだかにかかわらず、授業にしっかりと出席して、授業の中での活動にしっかりと取り組むようにしてください。定期考査だけではなく、提出物の状況や授業態度・取り組みも大きく成績に影響します。						

科目名	言語文化	学年	3 年生	使用教材	教科書	新編 言語文化（大修館書店）
		単位数	2 単位（必修・選択）		副教材	
学習の目標						
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。						
学習の概要						
（知識・技能）言葉の特徴や使い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項 （思考・判断・表現）書くこと、読むこと						
学期	学習内容		学習のねらい		学習方法	
1 学期	1 実体の美と状況の美 2 平家物語 3 夢十夜		・近現代以降の文章を読み、言葉と文化への理解を深める ・古文を読むための基本的な知識を身につける ・説明文の展開について思考し、作者の主張に意見を持つ		・講義 ・演習 ・発表 ・プリント学習	
2 学期	4 伊勢物語 5 城の崎にて 6 論語 7 万葉集・俳句		・小説の登場人物の心情を読み取る ・古文の基本的な知識を生かして、文章の読解に取り組む ・漢文の基本的な知識を生かして、文章の読解に取り組む ・俳句や和歌に親しむ		・講義 ・演習 ・発表 ・プリント学習	
3 学期	8 児のそら寝 9 セメント樽の中の手紙		・作品の状況設定を的確にとらえ、内容を読み取る ・古文の読解に取り組み、説明する		・講義 ・演習 ・発表 ・プリント学習	
観点別評価規準および評価方法						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
定期考査、小テスト		定期考査、小テスト、プリントの記述、作文などの作成、発表、話し合い		授業への取り組み、ノートの整理 プリントの記述、授業中の発言、行動観察		
観点別評価の割合 知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学習に取り組む態度 ＝ 1：1：1						
担当者からのメッセージ						
言語文化は、小説、古文、漢文が主な内容になります。古文、漢文は昨年度得た知識をもとに読解に取り組めます。そのため、昨年度の取り組みを振り返っての復習にも取り組みながら、授業にしっかりと出席して、授業の中での活動にしっかりと取り組むようにしてください。定期考査だけでなく、提出物の状況や授業態度・取り組みも大きく成績に影響します。						

科目名	国語探究	学年	4 年生	使用教材	教科書	なし
		単位数	2 単位 (必修 <u>選択</u>)		副教材	プリント等 (ワーク購入)
学習の目標						
日本語の実践的な運用能力を高める。 高等学校で習う漢字の読み書きだけでなく、就職や進学における論文指導や他人の意見、現代社会に目を向け、新聞や雑誌といった実生活に基づいた文章を読み、自分の意見を持ち、表現できるようになることを目指す。また、様々な文章に触れることで読解力を高める中で、語彙を増やし、豊かな言語感覚を養う。						
学習の概要						
漢字や語句の意味への知識を深めるべく毎授業オリジナル教材を用いて授業を行う。現代文法の理解を深めることで、文章の書き方を整え、より洗練された文章を書けるようにすることを目指す。また、新聞や雑誌の記事を読み、それに対して自身の考えを持ち、社会や他人に対して批評や意見を述べられるようになることを目指す。こうすることで、実社会に役立つ実践的な総合的な日本語運用能力のブラッシュアップ、レベルアップが継続的にできる。生徒の指導や目的に合わせるため、適宜、個別課題や指導を行うこともある。						
学期	学習内容		学習のねらい		学習方法	
1 学期	1 日本語の文法を理解する 2 文章の書き方を理解する 3 新聞を読み、自身の考えを持つ 4 小説や評論を読み、考えを深める		1 学習者の読解力に応じた、演習問題を作成し、徐々にレベルアップを図る。 2 小作文を書かせ、添削し、よりよい文章の書き方を学ぶ。また、実践的な履歴書や作文を書かせることで就活や入試への意識を持つ。 3 新聞記事における出来事を調べ、学び合い、自身の意見を書く。 4 様々な文章に触れ、読解能力を高める。		・講義 ・演習 ・作文 ・発表 ・話し合い ・プリント学習	
2 学期	5 様々な文章を読み、自身の考えを持つ 6 自身の考えを整理し、書く		5 幅広い知識と思考を身に着ける。 6 新聞を読み、自身の思いを言葉にする。		・講義 ・演習 ・作文 ・発表 ・話し合い ・プリント学習	
3 学期	7 地元の経済について思考し、視野を広げる 8 相手の話を聞き、主張に活かす		7 論文を読み、地元の経済について思考し、意見を持つ。 8 様々な意見に触れ、自身の考えを持つ。		・講義 ・演習 ・作文 ・発表 ・話し合い ・プリント学習	
観点別評価規準および評価方法						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
漢字をはじめ、慣用表現や現代用語、熟語や文法などを正しく理解し、活用できる。また、文脈に応じた文章表現ができる。		自分の思考や意思を文章にし、人に伝えることができる。また、様々な表現手段を理解し、場に応じた表現方法を活用して自己表現ができる。		自分の将来像を描き、自分自身と向き合い、考えをまとめることができる。また、社会に目を向け、様々な分野に関心を持つことができる。		
・定期考査 ・課題の内容、成果		・定期考査 ・課題の内容、成果		・授業態度、発表態度 ・プリント、ノート提出		
観点別評価の割合 知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学習に取り組む態度 = 3 : 4 : 3						
担当者からのメッセージ						
・大学入試などで、国語で受験をする可能性がある生徒は基本的な語彙力・漢字力はもちろん、ある程度高度な論理的文章を読解するために必要な語彙力・漢字力をつける必要があります。 ・毎日の生活の中で新聞やニュースなどから経済活動に興味・関心をもち情報を収集する習慣を身につけましょう。 ・自身の意見を言葉にする練習を日頃から積み重ねましょう。						

科目名	実用国語	学年	3 年生	使用教材	教科書	なし
		単位数	1 単位 (必修 選択)		副教材	プリント等 (ワーク購入)
学習の目標						
日本語の実践的な運用能力を高める。 高等学校で習う漢字の読み書きだけでなく、就職や進学における論文指導や他人の意見、現代社会に目を向け、新聞や雑誌といった実生活に基づいた文章を読み、自分の意見を持ち、表現できるようになることを目指す。また、様々な文章に触れることで読解力を高める中で、語彙を増やし、豊かな言語感覚を養う。						
学習の概要						
漢字や語句の意味への知識を深めるべく毎授業オリジナル教材を用いて授業を行う。現代文法の理解を深めることで、文章の書き方を整え、より洗練された文章を書けるようにすることを目指す。また、新聞や雑誌の記事を読み、それに対して自身の考えを持ち、社会や他人に対して批評や意見を述べられるようになることを目指す。こうすることで、実社会に役立つ実践的な総合的な日本語運用能力のブラッシュアップ、レベルアップが継続的にできる。生徒の指導や目的に合わせるため、適宜、個別課題や指導を行うこともある。						
学期	学習内容		学習のねらい		学習方法	
1 学期	1 日本語の文法を理解する 2 文章の書き方を理解する 3 新聞を読み、自身の考えを持つ 4 履歴書や作文の書き方を理解する		1 学習者の読解力に応じた、演習問題を作成し、徐々にレベルアップを図る。 2 小作文を書かせ、添削し、よりよい文章の書き方を学ぶ。 3 新聞記事における出来事を調べさせ、学び合わせ、自身の意見を書かせる。 4 実践的な履歴書や作文を書かせることで就活や入試への意識を持たせる。		・講義 ・演習 ・作文 ・発表 ・話し合い ・プリント学習	
2 学期	5 様々な文章を読み、考えを深める 6 人に目につきやすいポスターや掲示物について理解する。新聞の構成の仕方を知る 7 自身と向き合い、自分新聞を作成する		5 日本文学史を学び、幅広い知識と思考を身に着けさせる。 6 新聞の全体の構図を考えさせ、新聞の主張を読み取らせる。1 学期の履修事項を復習させながら自身を振り返って書かせる。 7 写真等を持ち寄り、自身の新聞と実際の新聞を見比べることでよりよいものを作成させる。		・講義 ・演習 ・作文 ・発表 ・話し合い ・プリント学習	
3 学期	8 他者の文章を読み、添削する 9 先人たちの言葉を知り、考えを育てる		9 他者の新聞を読み、添削し、他者の良さを取り入れる。 10 様々な文章を読み、文学作品に触れる足掛かりを作る。		・講義 ・演習 ・作文 ・発表 ・話し合い ・プリント学習	
観点別評価規準および評価方法						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
漢字をはじめ、慣用表現や現代用語、熟語や文法などを正しく理解し、活用できる。また、文脈に応じた文章表現ができる。		自分の思考や意思を文章にし、人に伝えることができる。また、様々な表現手段を理解し、場に応じた表現方法を活用して自己表現ができる。		自分の将来像を描き、自分自身と向き合い、考えをまとめることができる。また、社会に目を向け、様々な分野に関心を持つことができる。		
・定期考査 ・課題の内容、成果		・定期考査 ・課題の内容、成果		・授業態度、発表態度 ・プリント、ノート提出		
観点別評価の割合						
知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学習に取り組む態度 = 3 : 4 : 3						
担当者からのメッセージ						
・大学入試などで、国語で受験をする可能性がある生徒は基本的な語彙力・漢字力はもちろん、ある程度高度な論理的文章を読解するために必要な語彙力・漢字力をつける必要があります。 ・毎日の生活の中で新聞やニュースなどから経済活動に興味・関心を持ち情報を収集する習慣を身につけましょう。						